

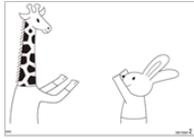
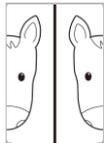
# 2歳児クラス 1月 第2回 「はんぶんこ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：提示用クッキーカードを提示。「一個しかないクッキー。お友達から食べたいって言われたら、みんなだったらどうする？」と問いかけ考えさせて絵本をスタートさせる。</li> </ul>	教材 ★絵本 ★iPad(シアターセット) 提示用クッキー(必要に応じてはさみ)	
	読み方 ①「はい はんぶんこ！」を子ども達と一緒に言いながら楽しく読み進める。 ②クッキーがだんだんと小さくなる様子が子ども達に伝わるように読む。 ※この時提示で使ったクッキーを進行と共に実際に切って見せて行くと、より解り易い。	保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達と一緒に考え、お話を楽しむ</li> </ul>	

## がくしゅうタイム

活動① <small>ねらい</small> 数(分割) クッキーを半分に割って分けることができる		
設問 「はんぶんこ」クッキーを半分に割って動物に分けてあげましょう	教材 P1 クッキーカード(両面テープ付き切り込み入り) 提示用クッキーカード 皿(シールのゴミ用) おはじき、皿(数チャレ用) ※クッキーにエッセンスを付けて準備しても良い	
つなぎ <ul style="list-style-type: none"> <li>講：「仲良く半分こ出来て良かったね。先生もクッキー食べたいな」</li> <li>保：「見て～、こんなに大きなクッキーもらっちゃった！」と提示用クッキーカード提示。</li> </ul>	保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>提示用クッキー、プリント提示</li> <li>配布プリント提示</li> <li>おはじきと交換でクッキーカードを渡す</li> <li>プリント配布</li> <li>理解できない子のフォロー</li> <li>ゴミ用皿配備</li> <li>称賛</li> <li>プリント回収</li> </ul>	
活動内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>講：「いいなあ。先生も欲しいなあ」と講師と保育士でクッキーの取り合いを見せ、「独り占めはだめだよ、どうしたら良い？」と子ども達に考えさせ、子ども達の声の拾いながら「分けっこしなくちゃね」と確認。クッキーカードを子ども達と一緒に「半分こ」をキーワードに千切り、講師と保育士で仲良く分ける様子を見せる。</li> <li>保：「僕達もクッキー欲しいって言ってるよ」とプリント提示。</li> <li>講：「今度はみんなも半分こしてみる？」「やりたい人！」と意欲を引き出す。</li> <li>講保：プリント配布。</li> <li>保：「みんなのクッキーもありますよ！」「今日はおはじき4個と交換です」と提示。</li> </ul>		
数にチャレンジ <ul style="list-style-type: none"> <li>子：皿の中のおはじきを「1・2・3・4…全部で4個」数えて取り「ください」「ありがとう」の言葉と共にクッキーと交換する。</li> </ul> ※繰り返し活動です。必要に応じて講師が見本を見せてから行う。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>子：クッキーを半分に切り離し、切れた子から両面テープを剥がしてプリントに「半分こ」と貼っていく。(テープのゴミは皿の中)</li> <li>講：「仲良く分けっこできて良かったね。またね」と称賛。プリント回収して&lt;活動②&gt;へ進む。</li> </ul>		
活動② <small>ねらい</small> 巧緻性 線の上を切り馬の顔を正しい形に戻しテープで止めることができる		
設問 馬カードの線をはさみで切って直し、セロハンテープで止めましょう	教材 馬カード 提示用馬カード ★はさみ ★セロテープ	
つなぎ <ul style="list-style-type: none"> <li>保：「こんにちは。なんだか美味しい匂いがしたんだけど！」と提示用馬カードを持って登場。</li> </ul>		
活動内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>講：「誰かな？馬？でも何か顔がおかしいね？」と子ども達に問かける。</li> <li>子：どこがおかしいのか？どうしたら直せるのか考え発言する。</li> <li>講：子ども達から(はさみで)切ることを引き出し「先生が直してみるね」と以下の見本を行う。</li> <li>①はさみの持ち方(小さな穴に親指、大きな穴には指3本が基本)を確認し「ゲー・パー」とはさみの開閉の動きを見せる。</li> <li>②紙を持つ位置の確認(持つ手は常にはさみの動きに合わせて移動させる。</li> </ul>		

<p>この時のキーワードは「持ち替えて」)</p> <p>③線を良く見て、線の上を「チョーキ・チョーキ」と切り進める。 ※途中、線から外れたり、添える手を動かさないなどの間違い行動を見せ、子ども達から正しい方法を引出しながら進めると、より意識が高まる。(集中している場合は、あえて間違い行動を見せなくても良い。)</p> <p>④切り終わったらはさみを片付け、正しい顔に組み直してセロテープで止めるところまで見本で見せる。 ※セロテープは「短くピッ！」がキーワード。短く切って貼り合わせるのがこの時期の基本。貼り方は縦止めで見せるが、子どもによっては、横貼りでも良い。2つのカードを貼り合わせられれば良しとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保:「まだこんなにたくさん…みんなも助けてくれるかな？」と馬カード提示。はさみと一緒に配布。</li> <li>※基本的には保育士の人数分のはさみを用意し、子ども1人1人に保育士がつきながらはさみの活動は行う。但し、クラスの状況によっては、講師・保育士が見守りながら一人で切ることにチャレンジさせても良い。</li> <li>・子:見本同様に切って、構成。貼貼り合わせていく。</li> <li>・講保:安全に配慮して活動を進める。切る長さが長い為、添える手の動かし方がポイント。「持ち替えて」のことも意識して補助。また子どもたちがテープを貼るとき、カードが動く貼りにくいので、苦手な子には一か所仮止めをしてあげてから自分で貼らせるとスムーズに進む。</li> <li>・講:無事貼り終わった馬カードを持って見せ合う。机上で「ぱっかぱっか♪」と動かし「馬さんお顔が直って良かったね」と称賛して活動を終了する。</li> </ul>	保育士の役割
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提示用馬カード持って登場</li> <li>・ 配布用馬カード提示、配布</li> <li>・ はさみ配布</li> <li>・ はさみの補助、個別指導</li> <li>・ 安全への配慮</li> <li>・ セロテープの配備</li> <li>・ セロテープ貼り補助</li> <li>・ 個別指導</li> <li>・ 称賛</li> </ul>

数チャレ	数	おはじき「4個」を数ることができる	教材
設問	おはじき「4個」と交換でクッキーを買きましょう		
活動内容	※<活動①>の中で実施します。		保育士の役割

### 出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	クッキーがだんだん小さくなる様子を具体的に感じ取れるように工夫しながら読むことが出来たか
活動① 数(分割)	ただ分けるだけではなく、思いやりの気持ちを持つ大切さも伝えることが出来たか
活動② 巧緻性	はさみ、セロハンテープの使い方の指導を的確に行えたか
数チャレ	4個取る見本行動をはっきりと行えたか

### 楽習タイム♪

\*\*\* テーマ・分割 \*\*\*

#### なんでもはんぶんこ!

●生活のあらゆる場面で「はんぶんこ」をキーワードにして子ども達と分ける体験をしてみましょう。

※分ける方法はスプーンで分けたり手で割ったり・ちぎったり、分けるものによっては、はさみ等を使ったり、その方法について話し合うのも良いですね。

※「はんぶんこ」の大きさはだいたい良いのです。「分ける」行為そのものを大切にしましょう。



「わかる」と言う行為は相手がいればじめてできること。社会性にも繋がりますね。

### 今月のえかきリズム

\*\*\* くも \*\*\*



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

